

# 次期学習指導要領改訂に向けた意見

---

教育改革委員会 委員長 天羽 稔  
(TGA 取締役会長、元デュポン 名誉会長)

2016年10月17日

中央教育審議会初等中等教育分科会 教育課程企画特別部会

# はじめに：経済同友会の教育分野での活動

## 【教育改革委員会 2016年度事業内容】

委員長：天羽 稔(TGA 取締役会長)

小林 いずみ(ANAホールディングス/サントリーホールディングス/三井物産 社外取締役)

●政策課題 ◇具体的行動

- ミレニアル世代が台頭するグローバル化時代の教育に関する諸課題の検討
- デジタルネイティブ世代への初等・中等教育のあり方
- 教育の質の保証に関連する諸制度の検討
- ◇経済同友会版「産学連携インターンシップ」の普及、発展への取り組み
- ◇中央教育審議会等における意見発信・交換および提言説明等のフォローアップ

### ＜教育に関係した取組＞

#### ①経営者による交流活動（出張授業）

##### [学校と経営者の交流活動推進委員会]

- 経営者自らが学校現場に出向き、自身の経験をもとに、中学校、高校を中心に交流活動（無償）を展開。
- 1999年度以来、1,800件を超える活動を展開。



(いわき海星高校に小型教習艇を寄贈)

#### ②IPPO IPPON NIPPONプロジェクト

(全国経済同友会による東日本大震災による復興支援事業) 2011年10月～2016年9月

- 将来を担う若者・子どもに重点を置き、被災した専門高校への実習機材の提供、国公立大学による復興事業など、具体的成果や内容が見える支援を展開。
- これまで総額20億円余りの支援を実施。

# 経済同友会「学習指導要領改訂に向けた意見」

(2014年11月26日公表)

- 経済同友会として、教育改革委員会と学校と経営者の交流活動推進委員会で合同で意見発表

教育改革委員会(委員長:天羽 稔)  
【政策委員会】

教育に関する諸課題について検討、  
提言を行う

学校と経営者の交流活動推進委員会  
(委員長:杉江 和男 DIC 取締役会長  
(当時))【会員実践活動委員会】

実践活動として小・中・高校において  
出張授業や教員・保護者の研修会を  
行う

- 本意見に基づき、次期学習指導要領に対して期待、要望を述べる

# 経済同友会 「学習指導要領改訂に向けた意見」 の主張①

## (1) 自らの考えや意思を日本語で明確に伝える教育の実現

- 読書や作文の奨励
- 双方向の対話や議論形式の授業の導入

## (2) グローバル化に対応した教育の充実

- 日本の歴史や伝統文化に関する教育の充実
- 小・中・高校を通じた実社会で役立つ英語教育への改革

## (3) 社会の一員としての自覚や職業観の醸成を促す教育

- 小・中学校での道徳教育の充実
- 新科目「公共」やキャリア教育の初等中等教育段階からの導入
- 最新の社会情勢についての教育の義務づけ

# 経済同友会 「学習指導要領改訂に向けた意見」 の主張②

教育現場の課題 : 課題の多様化・複雑化により、教員の負担増加

- 課外活動や事務量の増大
- 特別支援を必要とする児童・生徒
- 日本語力に問題がある外国人児童・生徒の増加等



教育の質の問題が明らかに・・・

- 私立高校と都立高校で、在学者や卒業生、保護者の「教員の質」に対する満足度に隔たり。  
（「都立高校に対する都民意識調査」(平成23年度)）

教員のモチベーションを高めるために、優秀な教員を適正に評価し、引き上げることが重要

# 経済同友会「学習指導要領改訂に向けた意見」 の主張③

## □ 学習指導要領の改訂の考え方、個別項目等の内容については概ね賛成

(1) 自らの考えや意思を日本語で明確に伝える教育の実現

(2) グローバル化に対応した教育の充実

(3) 社会の一員としての自覚や職業観の醸成を促す教育

## □ 一方で、実施・運用で課題

教育現場の課題は多様化・複雑化し、教員の負担増加

<課題解決に向けて必要なこと>

- ✓ 教育環境の変化、教員の業務量や内容等について十分な検証
- ✓ 着実に指導要領を実行できる体制・環境整備づくり

- 業務の効率化と重点化により、教員間の業務分担の見直し
  - キャリア教育の推進にあたって、実務経験豊かな人材の採用を一層推進すべき
- ⇒ 社会全体(保護者、地域、経済界)で教育に関わっていく姿勢が必要

経済同友会でも、キャリア教育等に関して交流活動を通じて積極的に関与していく

# 「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」 ～学習指導要領改訂の方向性～

## 概ね賛成：経済同友会の意見の方向性と概ね合致

### ①何を学ぶか

経済同友会「学習指導要領改訂に向けた意見」でも主張

- 新しい時代に必要となる資質・能力を踏まえた教科・科目等の新設や目標・内容の見直し

小学校の外国語教育の教科化、高校の新科目「公共(仮称)」の新設等

各教科等で育む資質・能力を明確化し、目標や内容を構造的に示す

学習内容の削減は行わない

### ②どのように学ぶか

- 主体的・対話的で深い学び(「アクティブ・ラーニング」)の視点からの学習過程の改善

生きて働く知識・技能の習得など、新しい時代に求められる資質・能力を育成

知識の量を削減せず、質の高い理解を図るための学習過程の質的改善

### ③何ができるようになるか

- 「社会に開かれた教育課程」の実現

各学校における「カリキュラム・マネジメント」の実現

# 「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」に対する意見①

## 「審議のまとめ」に基づき、積極的な推進を期待

### ①何を学ぶか

- 自らの考えを日本語で明確に伝えられる能力を養成したうえで、グローバル化に対応した教育を充実すべき
- 社会の一員としての自覚や職業観の醸成を促す教育として、道徳教育の充実や、初中等段階からのキャリア教育の導入、最新の社会情勢についての教育の義務付けを望む
- **学習内容の削減を行わないことには賛成** ⇒むしろしっかりと勉強する時期は大切にすべき

### ②どのように学ぶか

- まずは自らの考えや意思を持つための基礎づくりとして、読書や作文に慣れ親しむことが有効
- 考えや意思を第三者に伝える訓練として、**グループディスカッションやディベート等の双方向の対話・議論形式の授業を取り入れていくべき** ⇒ **アクティブ・ラーニングの導入に賛成**
- グローバル化により、多様な人種、国籍の人々と接する機会が増えていくなかで、自分と異なる個性を受け入れる姿勢が必要
- 小学校低学年からICT等も活用し英語に馴染ませることが必要
  - ⇒ **小学校からの外国語教育の教科化に賛成**
  - ⇒ **ICT等利用による教育現場の効率化にも期待**

# 「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」に対する意見②

## ③何ができるようになるか

### 着実に実行できる体制づくりに期待

#### ■ 教員の教育力・マネジメント力向上

←各学校における「カリキュラム・マネジメント」を実践していくうえで不可欠

- 教員の資質・能力として、教育力はもちろんのことマネジメント能力も重要
- 教育環境の変化、教員の業務量や内容等について十分な検証とともに、着実に指導要領を実行できる体制・環境整備が必要

具体的には・・・

- ✓ 業務の効率化と重点化により、教員間の業務分担の見直し
- ✓ 優秀な教員の適正な評価と引き上げとともに、評価が十分でない教員には相応の処遇を
- ✓ 実務家教員の積極的な採用  
⇒実社会で経験を積んだ教員の参画により、社会で求められている教育を実現する  
⇒外部から教員を採用することにより、教員間の健全な競争を促す

# 「次期学習指導要領等に向けたこれまでの審議のまとめ」に対する意見③

## ③何ができるようになるか

### 着実に実行できる体制づくりに期待

#### ■ 社会全体での教育の推進 ←「社会に開かれた教育課程」の実現

- 「チーム学校」の実現により、社会全体(保護者、地域、経済界)で教育を支援し、改革を推進していく
- ✓ 教員が教えることが難しい分野(Ex.キャリア教育や最新の社会情勢等の教育)については、経済同友会の交流活動を始めとする外部資源を有効に活用すべき